

<p>【評価視点】 1－(1)－① 自主事業計画（提案事業）に記載された事業を行っているか？</p>	<p>【評価算式】 ①実施事業数÷計画業務数 ②実施事業数－計画業務数</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施事業数は指定管理者（以下「指」とする。）からの報告を基にする（業務内容も確認する） ・計画業務数は業務計画書を基にする 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：「4点」における計画業務に上乘せする事業数が3事業以上であるとき</p> <p>4点：当初予算の指定管理料内であり、市の承認を受けた上で、計画業務に上乘せして事業を実施したとき（「3点」の結果を満たすこと）</p> <p>3点：算式①結果が「1」、かつ、②結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式①結果が「0.9以上1未満」、又は、②結果が「△2」のとき。 あるいは、「3点」の結果を満たすが、市に連絡なく計画業務を変更したとき。</p> <p>1点：「2点」の結果に満たないとき</p>	
<p>・行っている。① $6（実施数） \div 5（計画数） = 1.2$ ② $6（実施数） - 5（計画数） = 1$</p> <p>自主事業計画において大枠で5事業を提案していたが、指定管理料の範囲内で1事業（PR事業）を上乘せし、6事業を実施した。また、小枠では、はにわの館連携・協力事業において3事業を、はにわづくり出張講座にて1事業を上乘せして実施した。</p> <p>自主事業計画において大枠で5事業を提案していたが、指定管理料の範囲内で1事業（PR事業）を上乘せし、6事業を実施した。また、小枠では、はにわの館PR事業において2事業を、はにわづくり出張講座にて1事業を上乘せして実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 はにわづくり体験事業 2 はにわ小物販売事業 <ul style="list-style-type: none"> ・手作りはにわマグネットの販売 3 はにわ作製依頼請負事業 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄剣マラソン大会優勝カップ 4 はにわの館PR事業 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣公立文化施設へのポスター配布 ・多くの来客が見込まれる施設（古代蓮の里、観光案内所等）へのポスター、パンフレット配布 ・Twitter等のソーシャルネットワークサービスの活用によるPRの強化 ・はにわの作り方動画の作成及びYou Tubeへの投稿 ・全市内小学校にチラシ配布 5 はにわの館連携・協力事業 <ul style="list-style-type: none"> ・日本自動車連盟（JAF）連携事業 ・マイリフレッシュ事業（公立学校教職員組合埼玉支部） ・いっしょに巡ろうスタンプラリー（さきたま古墳公園及び吉見百穴） ・さきたま秋祭り（さきたま史跡の博物館） ・ふるさと納税記念品協力事業（行田市） ・古代蓮会館との相互割引サービス事業 ・タイムズクラブ（パーク24株）連携事業 ・レンタサイクル貸出事業 ・行田創生RPGゲームアプリのクーポン券の提供（行田市） 6 はにわづくり出張講座 <ul style="list-style-type: none"> ・古代蓮会館（開花期間中に2回） ・まちの賑わい“感謝祭”音楽と菓子の祭典 ・行田足袋コレ2018 	

評価基準・根拠（はにわの館）

<p>【評価視点】 1－(1)－② 自主事業計画の事業目的を達成したか？</p>	<p>【評価算式】 実施事業目的達成数－実施事業目的数（業務計画書記載事業）</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施事業目的達成数は指からの報告を基にする ・実施事業目的数は業務計画書及び指からの報告を基にする <p>*指からの報告を受ける目的及び目的達成についてはできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の事業については、前年の実績値を基準とすることもある</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：「3点」の結果を満たし、かつ、実施事業目的達成の度合いが2事業以上の特筆すべきものがあるとき</p> <p>4点：「3点」の結果を満たし、かつ、実施事業目的達成の度合いが1事業でも特筆すべきものがあるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「△1及び△2」のとき</p> <p>1点：「2点」の結果に満たないとき</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・大枠で1事業を、小枠で3事業を上乗せして実施し、かつ目的を達成した。 6（実施事業目的達成数）－5（実施事業目的数）＝1 <p>1 はにわづくり体験事業</p> <p>市内外を問わず多くの利用者にはにわづくりを体験していただいた。 古代蓮や田んぼアートといった観光目的で行田市を訪れた個人利用者に多くご利用いただいた。 子どもから高齢者までの幅広い年代層に対し、はにわづくりという非日常の体験と、古代の歴史に触れる学習機会を提供することで、はにわを始めとする古代文化の普及並びに古代ロマンの息づく街行田市のPRに貢献できたものとする。</p> <p>2 はにわ小物販売事業</p> <p>はにわの館スタッフの手作りによる「はにわマグネット」を販売することで、はにわの館並びに古代ロマンの息づく街行田市のPRに貢献したことに加え、はにわづくりの技術・技能の継承によりスタッフの資質向上を図った。</p> <p>3 はにわ作製依頼請負事業</p> <p>イベント等で使用するはにわや土器のレプリカを請負製作し、質の高い作品を提供することで、はにわの館並びに古代ロマンの息づく街行田市のPRに貢献したことに加え、はにわづくりの技術・技能の継承によりスタッフの資質向上を図った。</p> <p>4 はにわの館PR事業</p> <p>従来から展開していた近隣文化施設等へのポスター・パンフレット配布、Twitter を活用したPR活動に加え、はにわの作り方を動画で作成し、You Tube への投稿、全市内小学校へのチラシ配布を新たに実施することで、より広域的かつ適時適切な情報の発信に努めた。</p> <p>5 はにわの館共催事業</p> <p>日本自動車連盟（JAF）及びタイムズクラブ（パーク24株）との連携事業については、当該団体の会員を対象とした優待施設として、割引料金を適用するとともに、会報等により会員向け広報を活用することで、利用促進を図った。 マイリフレッシュ事業については、公立学校教職員組合埼玉支部との連携により、県内公立学校の教職員の利用促進を図った。 「いっしょに巡ろうスタンプラリー」については、さきたま古墳公園及び吉見の百穴との連携によりスタンプラリーを実施することで、相乗効果による利用促進を図った。</p>	

評価基準・根拠（はにわの館）

「さきたま秋祭り」については、さきたま史跡の博物館と連携し、祭りのアトラクションとして、はにわづくり体験をPRすることで、利用の促進を図った。

「レンタサイクル貸出事業」については、レンタサイクルの貸出業務を代行することで、観光客の利便性向上に貢献するとともに利用促進を図った。

「ふるさと納税記念品協力事業」については、行田市にふるさと納税を行った方への商品として、はにわの館利用チケットを提供することで、行田市のPRに貢献するとともに利用促進を図った。

「行田創生RPGゲームアプリのクーポン券の提供」については、ゲーム中に獲得する割引クーポンを提供することで、行田市のPRに貢献するとともに利用促進を図った。

6 はにわづくり出張講座

多くの来場者が見込まれる開花期の古代蓮会館や行田足袋コレ 2018 等のイベント開催時において、はにわづくりを気軽に体験できる場の提供を通じて、はにわの館並びに古代ロマンの息づく街行田市のPRに貢献した。

<p>【評価視点】 1－(1)－③ 自主事業計画の事業の参加人数は？</p>	<p>【評価算式】 各事業計画の目標参加人数－各事業の参加人数</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業の参加人数は指からの報告を基にする 各事業計画の目標参加人数は業務計画書及び指からの報告を基にする <p>*指からの報告を受ける目標参加人数についてはできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の事業については、前年の実績値を基準とすることもある</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：各事業の参加人数が、それぞれ目標の参加人数の1.2倍以上のとき</p> <p>4点：各事業の参加人数が、それぞれ目標の参加人数を上回るとき</p> <p>3点：1つの事業の参加人数が目標の参加人数に達しないが、全ての事業の合計人数では目標を上回るとき</p> <p>2点：複数の事業の参加人数が目標の参加人数に達しないが、全ての事業の合計人数では目標を上回るとき</p> <p>1点：複数の事業の参加人数が目標の参加人数に達せず、また、全ての事業の合計人数でも目標を下回るとき</p>	

1 はにわづくり体験事業 4,475人 (3,600人)

2 はにわ出張講座 83人 (200人)

<p>【評価視点】 1－(1)－④ サービスを向上させるための方策は達成しているか？</p>	<p>【評価算式】 サービスを向上させるための方策の達成÷サービスを向上させるための方策</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 方策の達成は指からの報告を基にする 方策は業務計画書及び指からの報告を基にする 実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「1」で、各方策において、前年度より特筆すべきサービス向上がみられたとき</p> <p>4点：算式結果が「1」で、各方策全てが前年度よりサービス向上したとき</p> <p>3点：算式結果が「1」のとき</p>	

評価基準・根拠（はにわの館）

2点：算式結果が「1未満」でも、前年度よりサービス向上したとき
1点：算式結果が「1未満」で、前年度よりサービス低下したとき

- ・順調に達成している。
- 13 (サービスを向上させるための方策の達成) ÷ 13 (サービスを向上させるための方策) = 1
- *主な方策*
- 1 近隣の文化会館へのポスター配布、ホームページ、Twitter、YouTube等の活用といった積極的な広報活動による利用情報の周知
- 2 情報雑誌等への利用情報の掲載
 - ・日本自動車連盟（JAF）会員向け広報誌
 - ・タイムズクラブ（パーク24株）ホームページ
 - ・日帰りウォーキング関東周辺（JTBパブリッシング）
 - ・関東・東北じゃらん（リクルートライフスタイル）
 - ・楽しく遊べるワークショップ特集（サンイブニング）
 - ・テレビ東京「なないろ日和」放映
 - ・産業文化会館情報誌リード
- 3 はにわの作り方動画を作成し、利用者の利便性向上に努めた。
- 4 ふるさと納税記念品送付事業の参加
- 5 いっしょに巡ろうスタンプラリーの参加
- 6 100名以上の団体利用に対応するため、さきたま史跡の博物館が所管するレストハウスを借用し、利用者への便宜を図った。
- 7 焼きあがった作品の発送サービスの実施により、遠方からお越しの利用者への便宜を図った。
- 8 団体の予約をホームページに掲載し、混雑状況を簡単に確認できるようにした。
- 9 作品の完成までに一定の期間を要するが、要望があった場合は可能な限り納品を早められるよう、窯焼きの回数を増やすなど柔軟に対応した。
- 10 はにわの館の周囲にのぼり旗を設置することで、利用者が館の位置を容易に認知できるよう配慮した。
- 11 レンタサイクルの貸出業務を代行し、利用者の利便性向上に努めた。
- 12 行田創生RPGゲームアプリのクーポン券の提供に協力することで、ゲームプレイヤーが楽しみながら、かつ、お得にはにわづくりを体験できる機会を提供した。
- 13 多くの来場者が見込まれる開花期の古代蓮会館や行田足袋コレ2018等のイベント開催時において、はにわづくり出張講座を計4回開催し、気軽に体験できる機会を提供した。

<p>【評価視点】 1-(1)-⑤ 利用者等のニーズ把握を行っているか？</p>	<p>【評価算式】 ①ニーズ把握調査回数 ②ニーズ把握数</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・ニーズ把握調査回数及び把握数は指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：「4点」の結果を満たし、かつ、ニーズ把握方法が、アンケート実施、手紙・メールを利用するとともに、障害者等へのニーズ把握配慮など、把握方法においても、特筆すべきものがあるとき 4点：算式①結果が「4回以上」、かつ、②結果が「30個以上」のとき 3点：算式①結果が「4回以上」、又は、②結果が「30個以上」のとき 2点：算式①結果が「2回、又は、3回」、又は、②結果が「10個以上30個未満」のとき 1点：「2点」の結果に満たないとき</p>	

行っている。

評価基準・根拠（はにわの館）

- 1 利用者への意見聴取
 - 2 Eメールでの意見募集
 - 3 意見箱の設置
 - 4 はにわづくり出張講座でのアンケート
- ①ニーズ把握調査回数 4回
②ニーズ把握数 10件

【評価視点】 1－（1）－⑥ 把握した利用者等のニーズの実現を図ったか？	【評価算式】 ニーズ実現数÷ニーズ実現可能数
【算式資料収集方法】 ・ニーズ実現数は指からの報告を基にする ・ニーズ実現可能数は、指から報告を受けたニーズ把握数を基に、所管課により、実現可能なニーズを抽出する（ニーズとウォンツの振り分け）	
【点数化】 5点：算式結果が「1」、かつ、当該ニーズ提出者のみならず、全ての利用者等に対し、サービス向上に寄与するとき 4点 ：算式結果が「1」のとき 3点：算式結果が「0.8以上1未満」のとき 2点：算式結果が「0.4以上0.8未満」のとき 1点：「2点」に満たないとき ・行っている。5（ニーズ実現数）÷5（ニーズ実現可能数）＝1 これまでに実現した主な利用者ニーズは以下のとおり。 1 はにわの館の公園内の立地がわかりづらい。→のぼり旗の設置や道路側の窓へのポスター掲示により対応した。 2 混雑状況を事前に把握したい。→ホームページに団体予約のスケジュール表を掲載した。 3 完成した作品の引き取りの際に何か入れ物がほしい。→手さげ用ビニール袋を用意した。 4 はにわを購入したい。→気軽に購入できる小物として、はにわマグネットを販売することで対応した。 5 館内で一同に利用できる人数を増やしてほしい。→簡易テーブルを用意し、テーブル数を増やすことで対応した。	

【評価視点】 1－（2）－① 利用者や地域との連携・協働を行っているか？	【評価算式】 連携・協働事業回数の合計
【算式資料収集方法】 連携・協働事業回数は指からの報告を基にする	
【点数化】 5点：「4点」の結果を満たし、かつ、連携等が広がりを見せていることが顕著なとき 4点 ：算式結果が「4回以上」、かつ、利用者や地域との連携等が継続しているとき 3点：算式結果が「3回」のとき 2点：算式結果が「2回」のとき 1点：「2点」に満たないとき ・7回 1 公立学校教職員組合埼玉支部との連携により、マイリフレッシュ事業を実施	

評価基準・根拠（はにわの館）

- 2 さきたま古墳公園及び吉見百穴との連携により、いっしょに巡ろうスタンプラリーを実施
- 3 さきたま史跡の博物館との連携により、さきたま秋祭りにおける、はにわづくり体験事業を実施
- 4 行田市との連携により、ふるさと納税記念品協力事業を実施
- 5 行田市との連携により、観光レンタサイクル貸出事業を実施
- 6 行田市との連携により、行田創生RPGゲームアプリのクーポン券提供事業を実施
- 7 行田商工会議所との連携により、足袋コレ2018に出向きはにわづくり出張講座を実施

<p>【評価視点】 1－（3）－① 苦情等を適切に処理しているか？</p>	<p>【評価算式】 未解決苦情等数</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・未解決苦情等数は指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」、かつ、全ての苦情について円満な解決が図られ、かつ、特筆すべき方法により、自ら積極的に苦情等を発信しない人々へのアプローチも行っているとき 4点：算式結果が「0」、かつ、全ての苦情について円満な解決が図られているとき 3点：算式結果が「0」ではないが、すべての苦情について円満な解決が図られる見込みのあるとき 2点：苦情について円満な解決が図られる見通しが不明なものがあるとき 1点：意思疎通にかけ、苦情解決の糸口が見出せないものがあるとき</p>	

- ・未解決苦情等数0件
- 要望は10件あったが、苦情はなかった。

<p>【評価視点】 1－（4）－① 特定の市民・団体に対して、条例や規則での規定事項以外で対応したことがあるか？</p>	<p>【評価算式】 サービスの提供に関して条例・規則以外での対応回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・利用状況について指からの報告を基にする ・指に対して、聴き取り調査を行う ・実地調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」、かつ、条例・規則の範囲内での新たなサービス向上が図られたとき 4点：算式結果が「0」、かつ、条例・規則の範囲内での工夫が見受けられるとき 3点：算式結果が「0」のとき、又は、算式結果が「0」ではないが、事前に市に対して照会・連絡を行っているとき 2点：算式結果が「0」ではなく、事後に市に対して報告・連絡を行っているとき 1点：算式結果が「0」ではなく、市に対しても報告・連絡を怠っているとき</p>	

- ・該当なし。サービスの提供に関して条例・規則以外での対応回数0回

<p>【評価視点】 2－（1）－① 経費節減の取組みを実施しているか？</p>	<p>【評価算式】 経費節減のための取組みの方策の実施÷経費節減のための取組みの方策</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・方策の実施は指からの報告を基にする ・方策は業務計画書及び指からの報告を基にする</p>	

評価基準・根拠（はにわの館）

・実地調査を行う
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「1」で、すべての方策において、特筆すべき取組みが見受けられたとき</p> <p>4点：算式結果が「1」で、特筆すべき取組みが見受けられたとき</p> <p>3点：算式結果が「1」のとき</p> <p>2点：算式結果が「1未満」でも、経費節減のための取組みが見受けられたとき</p> <p>1点：算式結果が「1未満」のとき</p>

・ 5（経費節減のための取組みの方策の実施）÷ 5（経費節減のための取組みの方策） = 1
 節減の方策の実施及び取り組みの方策

- 1 スタッフの適正な配置による臨時職員賃金の節減
- 2 古新聞の再利用及び梱包材や事務用品など購入数の検討による消耗品の節減
- 3 照明や空調設備の効率的な運転による光熱水料費の節減
- 4 職員による自主修繕の履行等による修繕費の節減
- 5 材料（粘土）の効率的な利用による原材料費の節減

<p>【評価視点】 2－（1）－②</p> <p>経費節減の効果が現れているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>当該年度の経費節減のための取組みの方策を受けた経費と前年との経費の比較</p>
---	---

<p>【算式資料収集方法】</p> <p>・経費の確認は事業計画書と指からの報告を基にする</p>
--

<p>【点数化】</p> <p>5点：経費節減のための取組みの方策を受けた経費の合計、及び、各方策の経費が、前年の経費の合計、及び、すべての各方策の経費を下回ったとき</p> <p>4点：経費節減のための取組みの方策を受けた経費の合計が、前年の経費を下回ったとき</p> <p>3点：経費節減のための取組みの方策を受けた経費の合計が、評定初年度の経費を下回ったとき</p> <p>2点：経費節減のための取組みの方策を受けた経費の合計が、評定初年度の経費を上回ったとき</p> <p>1点：経費節減のための取組みの方策を受けた経費の合計が、特段の理由もなく、評定初年度の経費を上回り、かつ、各方策の経費のうち、半分以上の方策の経費が、評定初年度の経費を上回ったとき</p>

- ・適切な管理を行っている。
- 経費節減の取り組みの方策を行った臨時職員賃金、燃料費、光熱水料費、修繕費及び原材料費の合算額
- 平成30年度 5,099,541円
- 平成29年度 5,360,289円

<p>【評価視点】 2－（1）－③</p> <p>施設全体として、前年度より経費が縮減されているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>全ての経費と前年度の経費の比較</p>
---	---

<p>【算式資料収集方法】</p> <p>・経費の確認は事業計画書と指からの報告を基にする</p>
--

<p>【点数化】</p> <p>5点：経費の合計が前年度の経費の95%以下のとき</p> <p>4点：経費の合計が前年度の経費の98%以下のとき</p>

評価基準・根拠（はにわの館）

3点：経費の合計が前年度の経費の98%～100%のとき
2点 ：経費の合計が前年度の経費の100%を越え、102%までのとき
1点：経費の合計が前年度の102%を越えるとき

・縮減を図れている。

<総支出>

平成30年度 6,313,915円 平成29年度 6,242,880円 前年度比 101.1%

【評価視点】 2－(2)－① 収支計画の金額以内で適切に支出されているか？	【評価算式】 実際にかかった経費と事業計画書の収支計画との比較
---	---

【算式資料収集方法】 ・経費の確認は事業計画書と指からの報告を基にする

【点数化】 5点：経費の支出が収支計画の金額以内で項目に則って行われており、かつ、すべての支出項目が収支計画の合計金額以内で項目に則って行われているとき 4点：経費の支出が収支計画の合計金額以内で項目に則って行われており、かつ、事業費が収支計画の合計金額以内で項目に則って行われているとき 3点：経費の支出が収支計画の合計金額以内で項目に則って行われているとき 2点 ：経費の支出が収支計画の金額を越え、又は、項目に則らず行われているとき（流用含む） 1点：経費の支出が収支計画の金額を越え、又は、項目に則らず行われているとき（流用含まない）
--

・収支計画の金額以内において適切に支出されている。施設及び設備の適正な維持管理のため、修繕に係る費用を予算流用した。

平成30年度計画支出 7,415,000円 平成30年度決算支出 6,313,915円
計画比 85.2%

【評価視点】 3－(1)－① 施設の利用人数は？	【評価算式】 当該年度の利用人数と前年の利用人数の比較
------------------------------------	---------------------------------------

【算式資料収集方法】 ・利用人数は指からの報告を基にする *参考資料として、他市の類似施設の利用人数の把握を行う

【点数化】 5点：当該年度の利用人数が、前年の利用人数の110%を超えるとき 4点：当該年度の利用人数が、前年の利用人数の105%を超えるとき 3点：当該年度の利用人数が、前年の利用人数の100%を超えるとき 2点 ：当該年度の利用人数が、前年の利用人数の100%を下回るとき 1点：当該年度の利用人数が、前年の利用人数の90%を下回るとき

・平成30年度 4,475人 平成29年度 4,487人 前年度比 99.7%

【評価視点】 3－(1)－② 施設の稼働率は？	【評価算式】 当該年度の稼働率と前年の稼働率の比較
-----------------------------------	-------------------------------------

【算式資料収集方法】 ・稼働率は指からの報告を基にする *参考資料として、他市の類似施設の稼働率の把握を行う

評価基準・根拠（はにわの館）

<p>【点数化】 5点：当該年度の稼働率が、前年の稼働率の110%を超えるとき 4点：当該年度の稼働率が、前年の稼働率の105%を超えるとき 3点：当該年度の稼働率が、前年の稼働率の100%を超えるとき 2点：当該年度の稼働率が、前年の稼働率の100%を下回るとき 1点：当該年度の稼働率が、前年の稼働率の90%を下回るとき</p>
--

・前年度比 101.9%

平成30年度	利用のあった日数	232日
	開館日数	303日
	稼働率	76.6%
平成29年度	利用のあった日数	227日
	開館日数	302日
	稼働率	75.2%

<p>【評価視点】 3-(1)-③ 利用の許可、停止、許可の取消し等を条例や仕様書等に基づき行っているか？</p>	<p>【評価算式】 管理に関して条例・仕様書等以外での対応回数</p>
---	---

<p>【算定資料収集方法】 ・管理状況について指からの報告を基にする ・実地調査を行う ・指に対して、聴き取り調査を行う</p>
--

<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」、かつ、条例・仕様書等の範囲内での新たなサービス向上が図られたとき 4点：算式結果が「0」、かつ、条例・仕様書等の範囲内での工夫が見受けられるとき 3点：算式結果が「0」のとき、又は、算式結果が「0」ではないが、事前に市に対して照会・連絡を行っているとき 2点：算式結果が「0」ではなく、事後に市に対して報告・連絡を行っているとき 1点：算式結果が「0」ではなく、市に対しても報告・連絡を怠っているとき</p>

・条例や仕様書等に基づき適切に行っている。。管理に関して条例・仕様書等以外での対応回数0回

<p>【評価視点】 3-(1)-④ 利用の許可を拒み、取消し、停止させた者について、その記録を作成し、速やかに報告したか？</p>	<p>【評価算式】 利用を拒否等したものうち、記録の作成・報告しなかった回数</p>
---	--

<p>【算定資料収集方法】 ・利用拒否等及び記録の作成については指からの報告を基にする ・報告については、実際に受けた報告の回数を基にする</p>
--

<p>【点数化】 利用の拒否等があった場合が前提となる 5点：算式結果が「0」であり、記録の作成が詳細になされ、速やかに報告され、かつ、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、記録の作成が詳細になされ、速やかに報告されているとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないとき 1点：記録の作成がされておらず、算式にあてはめることもできないとき</p>
--

評価基準・根拠（はにわの館）

- ・該当なし。利用を拒否等したもののうち、記録の作成・報告しなかった回数0回

<p>【評価視点】 3－（１）－⑤ 利用申請書どおりに利用していることについて確認を行っているか？</p>	<p>【評価算式】 利用者が利用している間中、管理者職員（委託された者を含む）が常駐していない回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・管理内容について指からの報告を基にする ・実地調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：（無料施設を含み）算式結果が「0」であり、かつ、特筆すべき事項があるとき 4点：（無料施設を含み）算式結果が「0」のとき 3点：（無料施設を除き）算式結果が「0」のとき 2点：（無料施設を除き）算式結果が「1以上3以下」のとき 1点：（無料施設を除き）算式結果が「4以上」のとき</p>	
<p>・有料又は無料に関わらず常時確認を行っている。 利用者が利用している間中、管理者職員（委託された者を含む）が常駐していない回数0回</p>	

<p>【評価視点】 3－（２）－① 利用者に対し適切に利用料金を収受しているか？</p>	<p>【評価算式】 利用料金を過大・過少に徴収している回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・利用者数と利用料金について指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき（減免方法等も適切な事務手順の基づき決定していること） 2点：算式結果が「0」であるが、納入時期・方法・減免方法等が条例・規則等との乖離が見られるとき 1点：算式結果が「0」でないとき</p>	
<p>・適切に利用料金を収受している。利用料金を過大・過少に徴収している回数0回 行田市はにわの館条例に利用料金の設定はないが、材料代（はにわづくり事業収入）については適正に収受している。</p>	

<p>【評価視点】 3－（２）－② 収支計画どおりに利用料金収入があるか？</p>	<p>【評価算式】 利用料金収入と事業計画書の収支計画との比較</p>
<p>【算式資料収集方法】 ・利用料金の確認は事業計画書と指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：「4点」の事項を満たし、施設利用料金収入と事業収入の合計金額が、前年度の105%以上のとき 4点：施設利用料金収入及び事業収入の合計額が収支計画の当該項目の合計金額以上の収入があり、かつ、それぞれの項目についても収支計画の金額以上の収入があるとき 3点：施設利用料金収入及び事業収入の合計額が収支計画の当該項目の合計金額以上の収入があると</p>	

評価基準・根拠（はにわの館）

<p>き</p> <p>2点：施設利用料金収入及び事業収入の合計額が収支計画の当該項目の合計金額に満たないとき</p> <p>1点：施設利用料金収入及び事業収入のそれぞれの金額が収支計画のそれぞれの項目の金額に満たないとき</p>
--

行田市はにわの館条例に利用料金の設定はないので、はにわづくり事業収入（材料代）のみをもって算定。

事業収入収支計画 2,910,000 円
 事業収入決算額 2,633,400 円

<p>【評価視点】 3－（2）－③</p> <p>利用申請時間外の利用について、適切に利用料金を収受しているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>申請時間外（超過時間）の利用について、適切に利用料金の収受を行っていない回数</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請時間外の利用及び適切な利用料金の収受については指からの報告を基にする ・申請時間外の利用については実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「0」でないとき</p> <p>1点：把握をしていないとき</p> <p>・該当なし。申請時間外（超過時間）の利用について、適切に利用料金の収受を行っていない回数0回</p>	

<p>【評価視点】 3－（3）－①</p> <p>休館日及び利用時間、利用料金（減免制度含む）を、見やすい場所に掲示、又は、備付け等しているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>掲示、又は、備付け等していない事項</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実地調査を行う 	
<p>【点数化】</p> <p>5点：「4点」の結果を満たし、かつ、周知の仕方について、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：全ての事項について、掲示、及び、備付けしているとき</p> <p>3点：全ての事項について、掲示、又は、備付けしているとき</p> <p>2点：一部の事項について、掲示、又は、備付けしているとき</p> <p>1点：掲示、又は、備付けがないとき</p> <p>・休館日、利用時間及び料金は、パンフレットへの掲載、施設内の貼紙、受付の掲示、備付けを行うとともに、ホームページに掲載し、より広域かつ効果的な周知を図っている。</p>	

<p>【評価視点】 3－（3）－②</p> <p>受動喫煙を防止する措置を講じているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>受動喫煙防止措置を講じているが、防止の効果が現れていない状況</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実地調査を行う 	

評価基準・根拠（はにわの館）

<p>【点数化】 5点：受動喫煙の防止措置を行った結果、喫煙者以外の利用者等に受動喫煙の恐れが一切なく、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：受動喫煙の防止措置を行った結果、喫煙者以外の利用者等に受動喫煙の恐れが一切なく、特筆すべき事項があるとき 3点：受動喫煙の防止措置を行った結果、喫煙者以外の利用者等に受動喫煙の恐れが一切ないとき 2点：受動喫煙の防止措置を行ったが、喫煙者以外の利用者等に受動喫煙の恐れが生じるとき 1点：受動喫煙の防止を講じていないとき、又は、「2点」の状況について改善が見受けられないとき</p>
--

・館内は全面禁煙としている。また屋外にも喫煙所を設置していない。

<p>【評価視点】 3－（3）－③ 施設及び設備について定期的に保守点検を行い、その記録を作成しているか？</p>	<p>【評価算式】 ①記録未作成回数 ②保守点検不備による事故発生件数</p>
---	--

<p>【算式資料収集方法】 ・記録表等については指からの報告を基にする</p>

<p>【点数化】 5点：定期的に保守点検を行っているとき、かつ、算式①・②結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：定期的に保守点検を行っているとき、かつ、算式①・②結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：定期的に保守点検を行っているとき、かつ、算式①・②結果が「0」のとき 2点：定期的に保守点検を行っているが、算式①結果が「0」でなく、②結果が「0」のとき 1点：定期的に保守点検を行っていないとき、かつ、算式①・②結果が「0」でないとき</p>

・対象施設及び設備を熟知した専門業者に保守点検を委託し、職員の立ち合いの上、定期的を実施している。また、結果報告書により、その内容を検証するとともに、適切に保管している。
 ①記録未作成回数0回 ②保守点検不備による事故発生件数0件

<p>【評価視点】 3－（3）－④ 施設、設備、物品の維持管理を適切に行い、必要な修繕を速やかに行っているか？</p>	<p>【評価算式】 修繕不備による事故発生件数</p>
---	---

<p>【算定資料収集方法】 ・事故発生件数については指からの報告を基にする ・実地調査を行う</p>

<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」であるが、実地調査により必要な修繕が実施されていないとき 1点：算式結果が「0」でないとき</p>

・適切な維持管理及び修繕を行っている。修繕不備による事故発生件数0件
 なお、窯のバーナー部の不調により、緊急修繕が必要であったが、予算残額が不足していたため、予算を流用の上、速やかに対応した。

評価基準・根拠（はにわの館）

<p>【評価視点】 3－(3)－⑤ 施設、設備、物品を滅失し、又は施設、設備、又は物品の重要な箇所を毀損したときは速やかに報告しているか？</p>	<p>【評価算式】 速やかな報告を実施していない回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・報告については指からの報告を基にする ・実地調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないが、実地調査により滅失等への対応が施されていると確認できるとき 1点：算式結果が「0」でなく、かつ、実地調査により滅失等への対応が施されていないと確認できるとき</p>	
<p>・速やかな報告を実施していない回数0回</p>	
<p>【評価視点】 3－(3)－⑥ 建物の改築、構築物の新設等、機械装置の新設等の現状変更をしようとするときは、予め協議し、承認を受けているか？</p>	<p>【評価算式】 予め協議し、又は、承認を受けていない回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・承認については指からの報告を基にする ・実地調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないが、必要不可欠な変更と見受けられるとき 1点：算式結果が「0」でなく、不必要な変更と見受けられるとき</p>	
<p>・該当なし。予め協議し、又は、承認を受けていない回数0回</p>	
<p>【評価視点】 3－(3)－⑦ 管理施設の修繕・改築において、1件につき見積額50万円（消費税及び地方消費税を含む）未満のものについては指定管理者の費用と責任において実施したか？</p>	<p>【評価算式】 費用及び責任における未実施回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・実施については指からの報告を基にする ・実地調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき</p>	

評価基準・根拠（はにわの館）

2点：算式結果が「0」でないが、必要不可欠な実施と見受けられるとき
1点：算式結果が「0」でなく、不必要な実施と見受けられるとき

・適正に実施した。

実施した修繕は3件であり、内容は次のとおり。

- 1 窯圧力計修繕
- 2 空調機ドレン水漏れ修繕
- 3 手洗い場排水管トラップ取付修繕

<p>【評価視点】 3－(3)－⑧ 指定管理者は、故意又は過失により備品等（I種）を毀損滅失した時は、市と協議し、必要に応じて市に対しこれを弁償又は自己の費用で当該物と同等の機能及び価値を有するものを購入又は調達したか？</p>	<p>【評価算式】 弁償又は購入、あるいは調達していない回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする ・実地調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0を越え2以内」のとき 1点：算式結果が「3以上」のとき</p>	

・弁償又は購入、あるいは調達していない回数0回

<p>【評価視点】 3－(3)－⑨ 管理にあたっての準備行為や清算行為等の引継ぎを適切に行っているか？</p>	<p>【評価算式】 ①不適切な準備行為回数 ②不適切な清算行為回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする ・実地調査を行う ・聴き取り調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：算式①・②結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式①・②結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式①・②結果が「0」のとき 2点：算式①・②結果が「0」でないが、円滑なサービス提供ができ、かつ、利用者等に影響を与えないと見受けられるとき 1点：算式①・②結果が「0」でなく、円滑なサービス提供ができず、又は、利用者等に影響を与えたと見受けられるとき</p>	

・適切に行っている。①不適切な準備行為回数0回 ②不適切な清算行為回数0回

評価基準・根拠（はにわの館）

<p>【評価視点】 3－（４）－① 臨時に管理施設の休館日を定める場合、承認を受けたか？</p>	<p>【評価算式】 承認を受けない回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき</p>	
<p>・承認を受けない回数0回 臨時休館日を設定せず、条例規則で定められた休館日以外は全て開館し、利用者ニーズへの対応に努めた。</p>	
<p>【評価視点】 3－（４）－② 施設等の利用時間を変更する場合、承認を受けたか？</p>	<p>【評価算式】 承認を受けない回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき</p>	
<p>・該当なし。承認を受けない回数0回 条例規則で定められた利用時間は全て開館し、利用者ニーズへの対応に努めた。</p>	
<p>【評価視点】 3－（４）－③ 施設等を引き続いて利用することができる期間を変更する場合、承認を受けたか？</p>	<p>【評価算式】 承認を受けない回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき</p>	
<p>・該当なし。承認を受けない回数0回</p>	

評価基準・根拠（はにわの館）

<p>【評価視点】 3－（5）－① 指定管理業務に係る会計処理を、他の事業と区分して経理しているか？</p>	<p>【評価算式】 経理していない状況</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないが、市からの指導により速やかに適正な処理を行ったとき 1点：算式結果が「0」でなく、市が指導しても、適正な処理が不可能なとき</p>	
<p>・他の指定管理事業費や財団運営費と明確に区分し、適正な会計処理を行っている。 なお、新・新公益会計基準に基づく損益計算ベース及び指定管理事業毎の収支計算ベース双方の決算書を作成し、必要に応じて提出している。</p>	
<p>【評価視点】 3－（5）－② 指定管理業務に係る会計書類を、各会計年度の終了後、5年間保存しているか？</p>	<p>【評価算式】 会計書類の紛失・不明枚数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする ・実地調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないが、その他の書類等により紛失・不明書類の内容が推測可能なとき 1点：算式結果が「0」でなく、その他の書類等からでも紛失・不明書類の内容が推測不可能なとき</p>	
<p>・適切に管理し、保存している。会計書類の紛失・不明枚数0件</p>	
<p>【評価視点】 3－（6）－① 指定管理業務を通じて取得した個人情報を、行田市個人情報保護条例等及び個人情報取扱特記事項、財団個人情報保護規程に基づき適正に取り扱っているか？</p>	<p>【評価算式】 不適正な取扱い回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき</p>	

評価基準・根拠（はにわの館）

- ・不適正な取扱い回数0回

行田市個人情報保護条例に準じて策定した財団個人情報保護規程に基づき適正かつ慎重な取扱いをしている。

また、特定個人情報（マイナンバー）について、利用者からの取得は一切なく、役職員や外部講師などの税金や社会保険に係る法定書類に記載が必要な場合に限り取得している。なお、特定個人情報の取得、利用及び保管等にあたっては、特定個人情報の基本方針と取扱いに関する要綱を策定し、適正な取扱いを行っている。

<p>【評価視点】 3－（6）－② 指定管理者が、行田市情報公開条例等及び財団情報公開規程を遵守し、情報の公開及び提供について積極的に努めているか？</p>	<p>【評価算式】 不適正な取扱い回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき</p>	
<p>・行田市情報公開条例に準じて策定した財団情報公開規程に基づき適正かつ慎重な取扱いをしている。 不適正な取扱い回数0回</p>	
<p>【評価視点】 3－（6）－③ 関係する法令、条例及び規則を遵守し、適正に運営を行っているか（前記以外のもの）？</p>	<p>【評価算式】 不適正な取扱い回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする ・実地調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき</p>	
<p>・関係法令、条例及び規則を遵守し、適正に運営を行っている。不適正な取扱い回数0回</p>	
<p>【評価視点】 3－（6）－④ 管理運営に必要な資格をもつ人員が配置されているか？</p>	<p>【評価算式】 配置されるべき有資格者が配置されていない数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>	

評価基準・根拠（はにわの館）

<ul style="list-style-type: none"> ・実地調査を行う
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「1」のとき</p> <p>1点：算式結果が「2以上」のとき</p>

・配置されるべき有資格者が配置されていない数0件
 必要な資格（防火管理者）を有する職員を配置している。
 また、はにわづくりに関して、専門的技術及び知識を有したスタッフを配置している。

<p>【評価視点】 3－（6）－⑤</p> <p>職員の研修を研修計画にしたがって行っているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>研修実施数－職員の研修計画数</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修実施数は指からの報告を基にする ・研修計画は業務計画書を基にする <p>*研修計画はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の研修については、前年の実績値を基準とすることもある</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：「3点」の結果を満たし、かつ、研修成果の度合いが2事業以上、特筆すべきものがあるとき</p> <p>4点：「3点」の結果を満たし、かつ、研修成果の度合いが1事業でも特筆すべきものがあるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「△1、又は、△2」のとき</p> <p>1点：「2点」の結果に満たないとき</p>	

・計画通りに研修を行い、安全管理の向上や職員のスキルアップにつなげている。

$$9 \text{ (研修実施数)} - 9 \text{ (職員の研修計画数)} = 0$$

- 1 スタッフミーティング
- 2 救命救助講習
- 3 接遇研修
- 4 はにわづくり技術研修
- 5 はにわや土器といった古代文化に関する勉強会
- 6 マイナンバーの取り扱いに関する各種研修
- 7 企業人権担当者研修会
- 8 行田市主催職員研修
- 9 民間主催職員研修

<p>【評価視点】 3－（6）－⑥</p> <p>管理内容や管理方法が申請書記載どおりに行っているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>不適正な取扱い回数</p>
<p>【算式資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・把握については事業計画書と指からの報告を基にする 	

評価基準・根拠（はにわの館）

<ul style="list-style-type: none"> ・実地調査を行う
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「1」のとき</p> <p>1点：算式結果が「2以上」のとき</p>

・申請書及び仕様書のとおり適切な管理を行っている。不適正な取扱い回数0回

<p>【評価視点】 3－（6）－⑦</p> <p>利用者のトラブルの未然防止策を検討し、対処方法が適切に行われているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>トラブルの対処方法数－事業計画書の未然防止策の検討数</p>
---	--

<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未然防止策の確認は事業計画書と指からの報告を基にする ・実地調査を行う
--

<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「0」でないとき</p> <p>1点：把握をしていないとき</p>
--

・事業計画書に記載した未然防止策として以下の4項目を検討、実践した。

$$4（トラブルの対処方法数）－4（事業計画書の未然防止策の検討数）＝0$$

- 1 利用者に対する注意事項の説明並びに利用案内及び注意事項の掲示
- 2 利用者との積極的なコミュニケーションによる利用者ニーズの把握
- 3 接遇研修の定期的実施並びに報・連・相の徹底による情報の共有
- 4 危機管理マニュアルの整備

<p>【評価視点】 3－（6）－⑧</p> <p>事故・火災への対策を講じているか？</p>	<p>【評価算式】</p> <p>事故、火災への対策数－事業計画書の事故、火災への対策数</p>
---	---

<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策数の確認は事業計画書と指からの報告を基にする ・実地調査を行う <p>*対策数はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の対策については、前年の実績値を基準とすることもある</p>

<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「0」でないとき</p> <p>1点：把握をしていないとき</p>
--

・事業計画書に記載した事故、火災への対策として以下の4項目を実践した。

評価基準・根拠（はにわの館）

$$6 \text{ (事故、火災への対策数)} - 6 \text{ (事業計画書の事故、火災への対策数)} = 0$$

- 1 消火器の使用訓練及び119番通報訓練の定期的実施
- 2 緊急連絡網の整備
- 3 危機管理マニュアルの整備
- 4 消防設備法定点検の確実な履行

また、現況に基づいた事故、火災の対策として、以下の項目を自主的に実践している。

- 5 日常点検による事故・火災につながるものの把握及び除去等の予防対策の実施
- 6 心肺蘇生法講習等の定期実施による適切な救急対応への備え

【評価視点】 3-(6)-⑨ 防犯対策を講じているか？	【評価算式】 防犯対策数－事業計画書の防犯対策数
【算定資料収集方法】 ・対策数の確認は事業計画書と指からの報告を基にする ・実地調査を行う *対策数はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の対策については、前年の実績値を基準とすることもある	
【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点 ：算式結果が「0」でないとき 1点：把握をしていないとき	

・事業計画書に記載した防犯対策として以下の3項目を実践した。

$$6 \text{ (防犯対策数)} - 6 \text{ (事業計画書の防犯対策数)} = 0$$

- 1 施設の定期的な巡回、点検の実施
- 2 売上金の早期回収等、現金滞留の抑制
- 3 近隣施設との連携による情報の共有

また、現況に基づいた防犯対策として、以下の項目を自主的に実践している。

- 4 退館時における在館者有無の確認及び確実な施錠
- 5 防犯用具（サスマタ・防犯ブザー等）の配置及び対応マニュアルの整備
- 6 掲示物等による注意喚起の実施

【評価視点】 3-(6)-⑩ 衛生対策を講じているか？	【評価算式】 衛生対策数－事業計画書の衛生対策数
【算定資料収集方法】 ・対策数の確認は事業計画書と指からの報告を基にする ・実地調査を行う *対策数はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の対策については、前年の実績値を基準とすることもある	
【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点 ：算式結果が「0」のとき	

評価基準・根拠（はにわの館）

2点：算式結果が「0」でないとき
1点：把握をしていないとき

・事業計画書に記載した衛生対策として以下の3項目を実践した。

$$4 \text{ (衛生対策数)} - 4 \text{ (事業計画書の衛生対策数)} = 0$$

- 1 日常清掃の適切な実施
- 2 利用者が使用する器具や空調機等の定期洗浄の実施
- 3 定期巡回による汚損箇所の迅速な発見及び処置

また、現況に基づいた衛生対策として、以下の項目を自主的に実践している。

- 4 ウイルス等感染症対策として、アルコール除菌剤（手指消毒用）を設置。

【評価視点】 3－(6)－⑪ 事前に市の承諾を受けずに、本業務の一部を第三者に委託し、又は請け負わせているか？	【評価算式】 承認を受けない回数
--	---------------------

【算定資料収集方法】

・把握については指からの報告を基にする

【点数化】

5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき

4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき

3点：算式結果が「0」のとき

2点：算式結果が「1」のとき

1点：算式結果が「2以上」のとき

・承認を受け、委託している。承認を受けない回数0回

【評価視点】 4－(1)－① 施設又は施設利用者に災害が生じたとき、あるいは、本業務の実施に関連して事故や災害等の緊急事態が発生した場合、速やかに必要な措置を講じるとともに、市を含む関係者に対して緊急事態の発生の旨を通報・連絡したか？	【評価算式】 通報・連絡しなかった回数
--	------------------------

【算定資料収集方法】

・把握については指からの報告を基にする

【点数化】

5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき

4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき

3点：算式結果が「0」のとき

2点：算式結果が「1」のとき

1点：算式結果が「2以上」のとき

・該当する事例はなし。

自然災害や利用者の怪我など、全てにおいて関係先へ早急な報告を行っている。特に、利用者の活動中の怪我には、応急処置や救急要請など、速やかな措置を講じている。

通報・連絡しなかった回数0回

評価基準・根拠（はにわの館）

<p>【評価視点】 4－(1)－② 事故等が発生した場合、市と協力して事故等の原因調査にあたったか？</p>	<p>【評価算式】 事故等の原因調査に協力しなかった回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき</p>	
<p>・原因調査が必要となる事故等はなかった。 事故等の原因調査に協力しなかった回数0回</p>	
<p>【評価視点】 4－(1)－③ 不可抗力が発生した場合、不可抗力の影響を早期に除去すべく早急に対応措置をとり、不可抗力により発生する損害・損失及び増加費用を最小限にするよう努めたか？</p>	<p>【評価算式】 早急に対応措置をとらなかった回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき 1点：算式結果が「2以上」のとき</p>	
<p>・利用者が作成し、乾燥のため預っている作品について、地震等により落下して破損することがないよう、保管棚に落下防止のとめ木を設置するなど、被害を最小限に抑えるよう努めている。 早急に対応措置をとらなかった回数0回</p>	
<p>【評価視点】 4－(2)－① 自動販売機及び公衆電話等の設置など、目的外使用にあたっては、予め市と協議するとともに、承認を得たか？</p>	<p>【評価算式】 予め協議し、及び、承認を得なかった回数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・把握については指からの報告を基にする ・実地調査を行う</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「1」のとき</p>	

評価基準・根拠（はにわの館）

1点：算式結果が「2以上」のとき

- ・自動販売機及び公衆電話等の設置はなし。予め協議し、及び、承認を得なかった回数0回

<p>【評価視点】 4－（3）－① 緊急時等の対策を実施しているか？</p>	<p>【評価算式】 緊急時対策数－事業計画書の緊急時対策数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策数の確認は事業計画書と指からの報告を基にする ・実地調査を行う <p>*対策数はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の対策については、前年の実績値を基準とすることもある</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「0」でないとき</p> <p>1点：把握をしていないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書に記載した緊急時対策として以下の2項目を実践した。 <p>5（緊急時対策数）－5（事業計画書の緊急時対策数）＝0</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然災害時等において利用者へ迅速な情報の提供及び適切な避難誘導の実施 2 市、消防、警察等の関係官庁との協力体制の構築及び緊急連絡網の整備 また、現況等に基づいた緊急時対策として、以下の項目を自主的に実践している。 3 台風接近時における迅速な対策の実施並びに通過後の被害状況確認及び報告の実施 4 心肺蘇生法訓練の定期的実施 5 危機管理マニュアルの整備及び適正な運用 	
<p>【評価視点】 4－（4）－① 自己評価制度を実施し、改善につなげているか？</p>	<p>【評価算式】 自己評価制度実施数－事業計画書の自己評価制度実施数</p>
<p>【算定資料収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施数の確認は事業計画書と指からの報告を基にする <p>*実施数はできる限る数値化させる。また、考え方の一つとして、前年と同じ目的の実施については、前年の実績値を基準とすることもある</p>	
<p>【点数化】</p> <p>5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき</p> <p>4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき</p> <p>3点：算式結果が「0」のとき</p> <p>2点：算式結果が「0」でないとき</p> <p>1点：把握をしていないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書に記載した自己評価制度の一環として以下の5項目を実践した。 <p>5（自己評価制度実施数）－5（事業計画書の自己評価制度実施数）＝0</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 月毎の指定管理施設の利用状況等の報告及び前年同期との比較、自己評価の実施 2 毎年度終了後、本自己評価を作成し、指定管理業務を検証する。また利用状況及び自主事業報告等と併せて所管課へ提出する。 	

評価基準・根拠（はにわの館）

- 3 2か月毎に財団内部で連絡調整会議を開催し、業務の進捗状況等の報告及び検証を実施する。
- 4 施設利用者を対象にアンケート調査を行うことで、客観的な評価を確認する機会を設けるとともに内容分析を実施する。
- 5 事業年度ごとに作成する事業報告書及び決算賞をもとに実績に基づいた検証を行い、P（計画）・D（実施）・C（チェック及び評価）・A（改善）の管理サイクルをまわして業務の実施・改善を図る。

<p>【評価視点】 5－（1）－① 指定管理者の経営状況は良好か？</p>	<p>【評価算式】 経営状況の不安要素数</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・要素数数の確認は収支（損益）計算書、貸借対照表、財産目録等を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：算式結果が「0」であり、特に、特筆すべき事項があるとき 4点：算式結果が「0」であり、特筆すべき事項があるとき 3点：算式結果が「0」のとき 2点：算式結果が「0」でないとき 1点：把握をしていないとき</p>	

・当法人は、公益財団として認められる適切な法人運営を行っており、不安要素は特にない。
 また、経費節減等に努めた結果、生じた余剰金については、その全額を市に償還することで、市の財政負担の軽減に寄与している。経営状況の不安要素数0件

<p>【評価視点】 5－（2）－① 本業務の実施に必要な資格者及び人材を確保し、必要な研修等を行っているか？</p>	<p>【評価算式】 人材確保及び必要な研修等の実施と事業計画書の人材確保及び必要な研修等との比較</p>
<p>【算定資料収集方法】 ・人材の確保と研修等の実施の確認は事業計画書と指からの報告を基にする</p>	
<p>【点数化】 5点：収支計画書の予算の範囲内で、管理運営に支障がない体制が確保され、かつ、職員研修が計画どおりに遂行され、特筆すべき事項があると見受けられるとき 4点：収支計画書の予算の範囲内で、管理運営に支障がない体制が確保され、かつ、職員研修が計画どおりに遂行されているとき 3点：計画どおりの管理執行体制が確保され、かつ、職員研修が計画どおりに遂行されているとき 2点：収支計画書の予算の範囲を越え、計画どおりの管理執行体制が確保され、又は、職員研修が計画どおりに遂行されていないとき 1点：管理執行体制の不備により、管理運営に支障が見られ、又は、職員研修が計画どおりに遂行されていないとき</p>	

・必要な資格取得や研修を実施している。また、人材の確保については、計画どおりのスタッフ配置で運営し、管理業務に支障をきたさないようにしている。

＊事務局職員

有資格（防火管理者）

＊はにわづくり指導、受付・案内スタッフ：臨時職員

＊清掃スタッフ：臨時職員

＊設備スタッフ：事務局職員及び委託業者

評価基準・根拠（はにわの館）

*研修等

- 1 スタッフミーティング
- 2 救命救助講習
- 3 接遇研修
- 4 はにわづくり技術研修
- 5 はにわや土器といった古代文化に関する勉強会
- 6 マイナンバーの取り扱いに関する各種研修
- 7 企業人権担当者研修会
- 8 行田市主催職員研修
- 9 民間主催職員研修